

大学名： 広島市立大学国際学部

ASPUnivNet の 4つの機能	評価項目	事例記述
学校のユネスコスクール加盟を支援します。	1. ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。	加盟支援担当地域からの新規加盟申請はありませんでした。
	2. ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。	チャレンジ期間実施校での ESD 実践および申請書の提出について、メールならびにオンラインでの相談機会を設けました。
	3. 地域の加盟済のユネスコスクールに向けて ESD/SDGs をリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。	近隣高校の「総合的な学習の時間」での ESD 活動において、当初はポスターセッションでの審査員を務める予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための「まん延防止等重点措置」の影響によりポスターセッションそのものが中止となりました。
大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します。	1. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援(資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど)を行うことができた。	近隣高校の「総合的な学習の時間」での ESD 活動において、ESD および SDGs における探究の意義について講演を実施しました。
	2. 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。	地域のコンソーシアム事業に参画し、研修会と授業づくりワークショップの開催に協力しました。
	3. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。	新型コロナウイルス感染拡大防止のための「まん延防止等重点措置」の影響により、開発することができませんでした。

地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します。	1. 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	新型コロナウイルス感染拡大防止のための「まん延防止等重点措置」の影響により、広く知らせることができませんでした。
	2. ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。	新型コロナウイルス感染拡大防止のための「まん延防止等重点措置」の影響により、結びつけることができませんでした。
	3. ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	新型コロナウイルス感染拡大防止のための「まん延防止等重点措置」の影響により、連携を促進することができませんでした。
国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します。	1. 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた。	新型コロナウイルス感染拡大防止のための「まん延防止等重点措置」の影響により、知らせることができませんでした。
	2. 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	新型コロナウイルス感染拡大防止のための「まん延防止等重点措置」の影響により、活動することができませんでした。
	3. ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。(例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など)	新型コロナウイルス感染拡大防止のための「まん延防止等重点措置」の影響により、支援することができませんでした。
その他の活動	1. 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	国際学部ということもあり、ユネスコスクールの存在や意義はすでに広く知られており、いまさら広く周知する必要はありませんでした。
	2. 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	学部および大学院の教職課程の授業で ESD や SDGs をはじめ、ユネスコスクールに関する事例を扱いました。
	3. 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	新型コロナウイルス感染拡大防止のための「まん延防止等重点措置」の影響により、調査することができませんでした。
	4. 自由記述	